

アポロニア21

生きた歯科情報を伝える。 医院経営・総合情報誌

2
Feb. 2023 • No. 350

特集 医院運営・3つの盲点

個別指導、痛みの診断、多職種連携

口腔から
全身が見える!

廣瀬知二

新連載

【対談】最新・個別指導との付き合い方 ■ 小畑 真/ドクター重田

「痛み」が難病のシグナル ■ 今村英夫

入れ歯調整、口腔ケア...その次の訪問診療 ■ 萩野礼子

レポート

福田直子
編集部

特別企画

編集部

第5回 メディカルジャパン 東京

「清潔」から考える
歯みがきと口腔の健康の文化史



特集

医院運営・3つの盲点 個別指導、痛みの診断、多職種連携

小畑 真／ドクター重田／萩野礼子／今村英夫 61

特別企画

第5回 メディカルジャパン 東京 編集部 84

レポート

「清潔」から考える 歯みがきと口腔の健康 福田直子／編集部 90

GP 論

NEW 口腔から全身が見える！「タウロドント」とCOVID-19の重症化リスク 廣瀬知二 22
臨床駅伝 こんな患者さんが来たら？ 被せ物をした歯がうずく 廣松 亮 26
次世代に残したい 臨床アーカイブス プライマリケア医として「うつ症状」を見逃すな 黒澤俊夫 36

Interview

院長インタビュー 湯川譲治（東京都・アキバ歯科） 04
他業界からのメッセージ 作志家（ライター） 98

リレーインタビュー

一問一答・あの先生のライフスタイル 添島正和（熊本県・添島歯科クリニック 院長） 10

経営

DHレッスン Akaneにお任せ！ 失敗から学ぶ！口腔内写真① 側方面（右） 竹之内 茜 16
キレイ！効率的！クリニックの知恵 pmj 木町通デンタルクリニック（宮城県） 小原啓子／藤田昭子 18
しくじり院長が行く！ 「自己接待」が上機嫌のカギ！ 根本章吾 32
チラ見せ・動画メディア「歯科ラジオ」 歯科健康相談『mamoru』 宇野澤元春／山本達也 50
スタッフに教えたい経営の話 相次ぐ退職で、開業メンバーがいなくなる！ 濱田真理子 102
無理しないお金講座 医院経営とライフプラン 安田会計事務所 106
スタッフがモノ申す！院長の○×対応 「えこひいき」には要注意！ 菅野愛弓 108
物語で学ぶ労務管理 契約変更で有休はどうなる？ (有)人事・労務 110
院長夫人の出番です！[リレー編] 新型コロナ対応は柔軟に！ 吉田美沙子 114
医療とお金の歴史 予防・プライマリケアは医療費を下げるか？ 水谷惟紗久 124
ドクター重田の個別指導塾 削る覚悟もせなアカン！ ドクター重田 130

エッセイ

身体がよるこぶ！還元クッキング 冬の身体を守る大根の力	大友慶孝 48	BOOK STAND	136
ときめき旬ホテル トグルホテル水道橋／庭のホテル 東京	保母美貴 56	GOODS BOX	140
DHアーヤの患者さんこんにちは！ 人は見た目では分からない！	古屋綾子 118	ニュースボード	144
世の中いたしたいのお ワシになりたいんは名医じゃのうて…	GP 太郎 120	読者の声	156
高村くるみ流人生相談室 妊娠したけど産みたくありません。他	高村くるみ 128	広告掲載一覧	157
サカモッチィのサムシング 日本、ベスト8の壁、破れませんでした。	坂本光徳 129	バックナンバー	158
toothsome君が行く！歯と神仏の旅 歯の神様（熊本県）	福田直子 134	編集後記	160
From Dental Dealer's Opinion 歯科医療管理学から見る感染症対策と健康寿命	山本恵三 135		

院長Interview



オタクパワーで 歯科の恐怖を 払拭したい

アキバ歯科
東京都千代田区

湯川 譲治 氏

Yukawa Joji

1980年生まれ。2009年、松本歯科大学
歯学部卒、同歯科麻酔科所属。18年、巨
樹の会勤務。22年6月開業。

スタッフ：歯科医師1人

歯科衛生士6人（非常勤）

歯科助手6人（うち非常勤4
人）

ユニット：2台

東京・秋葉原に昨年6月に開業したアキバ歯科。「萌え」をコンセプトに、「メイド服を着たスタッフ」「コンセプトカフェをイメージした内装」など、秋葉原という街の個性を生かした医院で、開業当初から注目を集めている。「根っからのオタク」と語る湯川院長に、一見「イロモノ」とも思える医院をつくった理由や、固定観念に縛られない歯科の可能性について伺った。

アキバの萌え空間

——いかにもアキバという感じのかわいい内装ですね。開業地と医院コンセプトを決めた理由を教えてください。

湯川 私自身がオタクなので、オタクという個性を生かした医院をつくりたかったのが理由の一つですが、根底にあるのは「歯科恐怖症の人を救いたい」という思いです。

私は歯学部卒業後、母校の歯科麻酔科で働く中で、歯科恐怖症の患者さんに多く対応し

てきました。「歯科が怖い」という思いを誰にも言えず、一人で悩んでいる人はたくさんいます。これらの人々の恐怖心を少しでも取り除き、歯科医院に通うきっかけになるような、歯科医院らしくない歯科医院をつくりたいと思ったのです。

当初は隣にメイドカフェを作って、来店するお客さまに医院の存在を知ってもらおうと考えたのですが、「だったら一緒にすればいいじゃない」と知人に言われて一体化することに。「治療のためでなくても歯科医院に来



■医療法人社団平和会 添島歯科クリニック・こども歯ならびセンター
院長(熊本県)

資格・所属：歯学博士(東京歯科大学・解剖学講座)、日本顎咬合学会指導医・認定医、日本口腔インプラント学会指導医・専門医、日本歯周病学会指導医・専門医、日本臨床歯周病学会指導医、日本臨床歯科学会(SJCD)熊本支部最高顧問・常任理事、日本アンチエイジング歯科学会認定医、日本補綴歯科学会指導医・専門医、日本審美歯科学会認定医、日本糖尿病学会登録歯科医、あすか会発起人・アドバイザー
福岡インプラント研究会(FIRA) 100時間コース講師、福岡歯科大学口腔インプラント科臨床教授(2010～13年)

診療スタイル：歯科医師4人、歯科衛生士8人、受付2人、歯科技工士2人、ユニット8台、駐車場25台分
日本補綴歯科学会認定研修施設申請中、学校法人中島学園理事・研修施設、SJCD・あすか会の毎月1回の研修施設

生年：1947年(猪年)
出身地：熊本県
出身大学：東京歯科大学(1972年)
出身高校：熊本県立熊本高校(1966年)

第109回

添島正和先生

Soejima Masakazu

生活スタイル

平均睡眠時間は？

5時間。10代から朝型人間で、高校受験の時も早朝2時ごろに起床していた。
その習慣は今も変わらず、目覚まし時計は

これまでかけたことがない。もちろん、睡眠薬も飲んだことはなく、ベッドに入ったら2～3分で寝られる。

一日の中で好きな時間は？

早朝の静かな時間。誰にも邪魔されず新聞や歯科商業誌、学会誌、自己啓発本など、さ



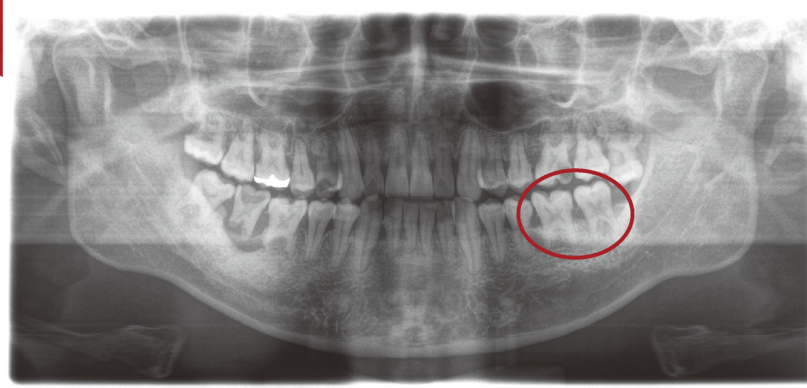
口腔から 全身が 見える！

口腔内に見られる特徴的な病変や異常が、思わぬ全身疾患の兆候となっていることも！診療中に出会うかもしれない兆候について解説します。

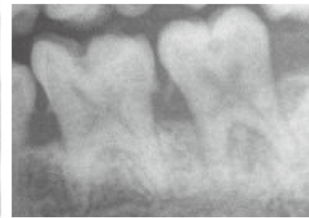


廣瀬知二
Hirose Tomoji

熊本県・医療法人伊東会
伊東歯科口腔病院
訪問診療部長 歯学博士



30代男性の下顎大白歯に見られたタウロドント。



1 「タウロドント」とCOVID-19の重症化リスク

どんな
症状？

通常に比べて歯髓腔が広い。「広髓歯」「長胴歯」とも呼ばれる。



こんな病気の
可能性が…

歯内療法が困難。COVID-19が重症化する可能性も？

ネアンデルタール人とタウロドント

「タウロドント」とは、通常に比べ広い歯髓腔を持つ歯であり、「広髓歯」「長胴歯」とも呼ばれます(図1)。1913年にユーゴスラビアで

出土したネアンデルタール人の化石から発見された臼歯に用いられた言葉です。

その後もネアンデルタール人の化石からタウロドントが発見されたことから、当初は歯の原始的形態であると認識されてきまし

特集

普段、疑問に思わずに行っている業務にも、思わぬ盲点があるものです。実際のニーズからズレている訪問診療、「人」のマネジメントが見落とされがちな個別指導対策、親知らずの痛みかと思われた意外な難病を取り上げ、対策を探ります。

医院運営・ 3つの盲点

個別指導、痛みの診断、 多職種連携

**入れ歯調整や口腔ケアだけじゃない！
本当に求められる訪問診療**

話し手：萩野礼子（東京都・おはぎ在宅デンタルクリニック）

[対談] 最新・個別指導との付き合い方

話し手：小畑 真（弁護士法人小畑法律事務所 代表弁護士、歯科医師）
ドクター重田（歯科保険研究会個別指導部 代表、歯科医師）

親知らずの痛みかと思ったら…まさかの「高安動脈炎」！

文：今村英夫（佐賀県・いまむら歯科医院）



本当に求められる 訪問診療

「入れ歯が合わない」という訴えから、舌がんや口腔粘膜がんが見つかることも少なくない。認知症が進むと、本人だけでなく家族も気づきにくくなる。

この記事のポイント

顎義歯の診療を在宅で実施

最期の「食べる」に応える

高品質な嚥下食を料理店で提供



●話し手：

萩野礼子 氏

Hagino Ayako

東京都・

おはぎ在宅デンタルクリニック
院長

●取材・文：編集部

個別指導アドバイザー

歯科医師×弁護士

対談

ドクター重田氏

Doctor Shigeta

歯科保険研究会個別指導部代表、歯科医師

小畑 真氏

Obata Makoto

弁護士法人小畑法律事務所 代表弁護士
歯科医師

最

新

個別指導との 付き合い方

臨床経験豊富な歯科医師であり弁護士である小畑真氏と、本誌で「ドクター重田の個別指導塾」を連載しているドクター重田氏に、コロナ禍の事情も含めた昨今の「個別指導事情」について、本音で語り合ってもらいました。

この記事のポイント

弁護士帯同、結局どうなの？

こんな人に協力させちゃダメ！

コロナ禍でこんな変化が…

指導対策に 「裏技」はあるのか？

——小畑先生や重田先生は、個別指導とどのように関わっているのですか？

ドクター重田（以下、重田） 相談が来れば、まずは地域の歯科医師会や保険医協会に相談

●聞き手、文：編集部

親知らずの痛みかと思ったら…まさかの
た か や す
「高安動脈炎」！

歯が
痛い…

首が
痛い…

この記事のポイント

若い女性の歯痛に注意！

智歯周囲炎や顎関節症などと
間違われることも

●文：今村英夫 氏

Imamura Hideo

佐賀県・いまむら歯科医院 院長



第5回 メディカルジャパン 東京

幕張メッセ・2022年10月12～14日



「メディカルジャパン」(第5回医療・介護・薬局Week東京、RX Japan主催)は、医療機関、介護施設、薬局の運営管理に関するモノやサービスが一堂に会する展示会。会場で見つけた歯科医院にも応用可能なアイデアを紹介します。SDGsにも配慮したヒントが満載！ ●取材・文：編集部



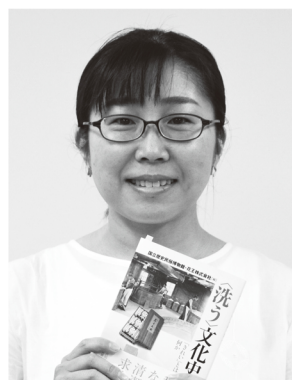
書籍『〈洗う〉文化史―「きれい」とは何か』から

「清潔」から考える 歯みがきと口腔の健康



『〈洗う〉文化史―「きれい」とは何か』(吉川弘文館)は、「洗う」「きれい」をテーマに、古代から現代までの日本人の生活を捉え直した日本文化史再考の試み。本誌連載中の歯の民俗の研究家・福田直子氏による「むし歯予防と歯みがき習慣の形成と普及」も収載されています。

歯みがきや口腔の健康が近代の生活文化とどのように関わるか、福田氏にあらためて伺いました。



●話し手：

福田直子 氏
Fukuda Naoko
歯の民俗の研究家
本誌にて
「toothsome君が行く！
歯と神仏の旅」を連載中

●聞き手・文：編集部

「きれい」と「むし歯治療」

——「きれい」という視点で、日本文化を捉

えた『〈洗う〉文化史』に、歯みがきと口腔衛生の視点から執筆されましたね。拝読して、明治初期から、強い問題意識を持って歯科保健に取り組んできた人たちがいたことが分かりましたし、軍国主義が広がる中、歯の健康の

次号予告

特集

借入・返済の「実学」

- ・座談会「融資、リース(借金)のトラブルと予防法」
- ・「借金が返せない!」その時どうする!?

レポート

「糖尿病」の名称変更から考える
「歯科の用語は適切か?」 日本糖尿病協会

レポート

沖縄でメンテナンス定着に成功!

上原歯科クリニック/上間京子

あの先生のライフスタイル

須崎 明(医療法人ジニア ぱんだ歯科 理事長)

編集
後記

本誌の超ロングラン連載「安田登編集室」でおなじみだった安田登先生が、昨年12月にお亡くなりになりました。

連載が始まったのは、私が編集長になった直後。歯科のことを何も知らない私を、優しく指導してくださいました。

それから約20年。歯科医療は修復・補綴中心の在り方から脱却し、予防管理型のマネジメントが主流になりました。これに伴い、「院長の腕の良さ」だけでは歯科医院経営が成り立たなくなり、本誌のような経営雑誌の立ち位置も大きく変わっていきました。

同時に、臨床疫学的な実証(エビデンス)が重視されるようになった変化も見逃せません。それまで「この治療はオレにしかできない」と技術を競ってきた歯科医療界に、「誰にでも再現できるものでなければ意味がない」という発想が広がったのと同時に、「目の前の患者さんにとっての利益」が最

優先になったといえます。

安田先生は、そうした時代の変化を先取りしていました。「(技術志向の)とことん突き詰める歯科医療」には限界があり、「患者さんに向き合うゆったり型の歯科医療」が望ましいと、コミュニケーション重視の医院経営を提唱されてきました。「患者さんの肩でも揉んであげればいいじゃないの」という言葉が印象的です。

合計230回、約20年にわたる連載は、時には鋭く、たいていは緩く、歯科医療全般の課題を発信してきました。「学生時代から愛読していた」という歯科関係者も少なくありません。収録のためにご来社されるたび、いつもおしゃべりで女性スタッフからも人気でした。長い間、本当にありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

今回は、個別指導、訪問診療、「痛み」の診断をテーマに、医院運営の見落としがちな点を取り上げました。ご一読ください。(水谷惟紗久)

アポロニア²¹

2月号

2023年2月1日発行
通巻350号

●発行人

水野純治

●編集長

水谷惟紗久

●発行

(株)日本歯科新聞社

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町2-15-2

[TEL] 03-3234-2475

[FAX] 03-3234-2477

<http://www.dentalnews.co.jp>

apolonia@dentalnews.co.jp

●印刷

三報社印刷(株)

※落丁、乱丁はお取り換えます。
掲載記事の無断転載を禁じます。

●月刊『アポロニア21』の定価は、1冊2,420円(本体2,200円+10%税)です。ご購入は年間29,040円の前納制にてお願い致します(税・送料込)。当社ホームページのお申し込みフォーム、FAX、Eメール、またはお出入りの歯科商店でお申し込みください。

●取材のお申し込み

当社ホームページのトップページにある「取材の依頼・情報提供はこちら」というボタンから、「取材依頼・記事掲載 応募フォーム」にご記入ください。

●広告のお問い合わせ・お申し込み

(株)マーケティング・

インターナショナル

〒160-0011

東京都新宿区若葉1-10

TEL: 03-3357-7707

FAX: 03-3357-7751

Webでもさまざまな
情報を発信中!



- ・Twitter
- ・Facebookファンページ
- ・YouTubeチャンネル
- ・note
- ・Instagram